

平成 28 年度ふれあい行事開催報告

行事名	野鳥と冬芽の観察会
主催（後援）	支笏湖自然保護官事務所（協力：支笏湖ビジターセンター運営協議会）
開催日	2016年 11月 12日（土） 9:50～12:00
場所	休暇村園地（休暇村支笏湖前広場および散策路）
参加者	参加者 10名
行事の概況	紅葉シーズンを終え、すっかり葉を落とした木々が目立ち、少し寂しい感じがする支笏湖。しかし、よく観察してみると、樹木に冬芽や花芽が付いており、来春の準備を始めています。毛皮を着たようなキタコブシの冬芽や羊の顔のように見えるオニグルミの葉痕等、種類によって大きさや形が異なる冬芽や葉痕に、みなさん興味津々でした。また、木々の間を飛び交うシジュウカラやゴジュウカラ等の姿も発見できました。これから本格的な冬を迎えることを感じる観察会となりました。

<活動の様子>



ルーペを使用して観察



毛皮のようなキタコブシの冬芽



羊の顔のように見えるオニグルミの葉痕



ホオノキの実と冬芽